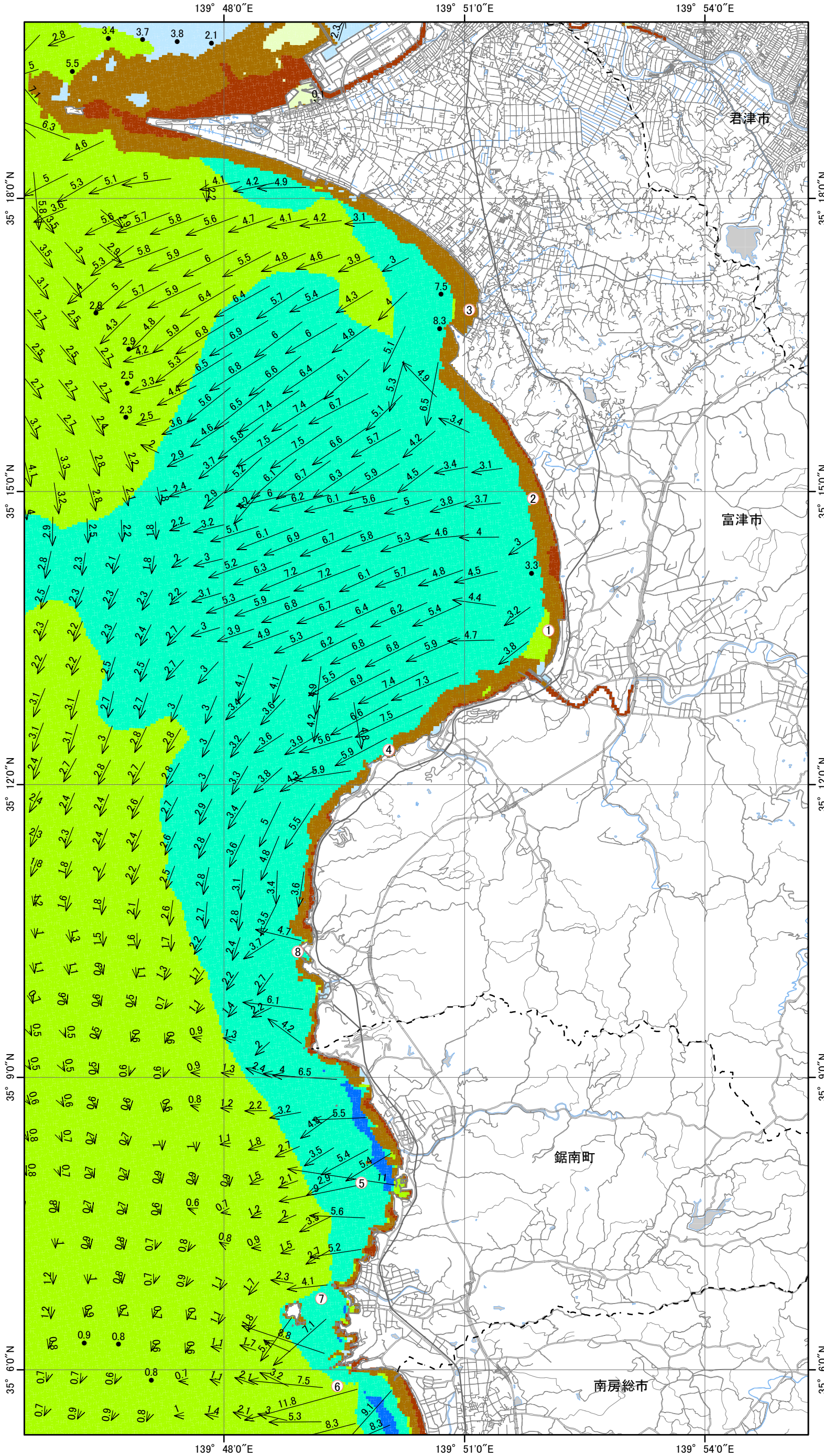


計算条件： 最低水面(零位)  
 隆起量： 平均 0.21m(-0.72m ~ 1.54m)  
 Zo： 1.00m~1.15m  
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系(WGS84)



凡例

最大水位低下

- 5~最大6.6m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点

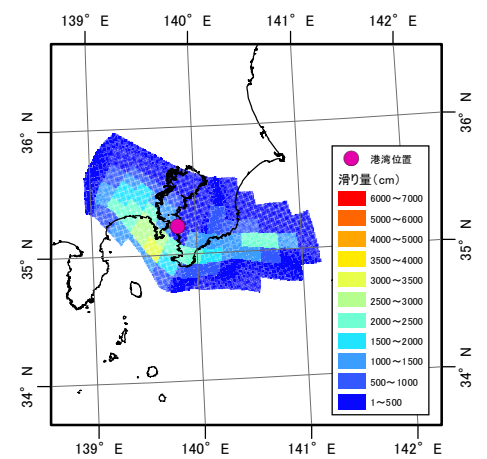
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断層モデル



元禄関東地震

モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会(平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム(ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)